

第9回 岡山県森林インストラクター会 自然観察会



一般44名、会員（実行委員・役員含む）9名。心配された台風の影響もなく、晴天に恵まれた10月20（日）、恒例となった第9回自然観察会が開催されました。

時は、雲海が発生する季節。9時頃には集合場所の小高下町駐車場には、「天空の城」を思わせる霧が立ちこめて期待が広がりましたが、10時になると霧が晴れてきてしまい、残念ながら「天空の城」は幻となってしまいました。でも先発したバス1号車は、展望台にて松山城と眼下に広がる高梁市を堪能したようです。

展望台側駐車場にやがて合流した後発組と共に「開会式」を開催。宮畑会長、小見山NPO法人フォレストフォーピープル副理事長のあいさつ・諸注意等を終え、4班に分かれて出発。

【観察会ルートマップ】



今回は、前回の観察会反省を踏まえ、説明ポイントを設定。各班で個性のある説明を交えながら松山城を目指して進みます。人工林の手入れが必要な箇所とそうでない箇所の対比。供花となるサカキ、ヒサカキ、シキミの実物を前にしての説明。大松の吊り橋では、「猿よけ？」「人間よけ？」入り口と出口の謎の「しきり」は何???

大池の近くでは、ヤブニッケイとほんまもんのニッケイの葉とのおい比べ。今年3月に伐採された「臥牛山のアベマキ」の伐根に



アベマキの伐根に往時を偲ぶ

触れ、350年前からの巨木の生き様にふれてもらいました。

12時40分、土橋跡前の広場で閉会式を行いました。先に出発した班と最後尾の班との時間差があり、今後時間差をどのように調整するかが課題となりそうです。ここで第1次解散。

松山城入り口付近でお昼ごはんを食べた後、希望者と一緒に小高下町駐車場まで歩いて下山。熱心な参加者からの質問攻めに悲鳴を上げながら、最後まで実りある観察会となりました。

今回は記念すべき？観察会10回目。開催場所の希望地はありませんか？。お知らせいただくと幸いです。

(文責：梶原)

(後記)

毎年来てくださる方、始めて来てくださった方。心掛けているのは、内容に飽きないように前回の説明との重複は極力避ける。言葉は難しくないようにわかりやすく、時にはホワイトボードに書いて説明する。香り、手触り、味覚・・・なるべく五感をつかって興味を持ってもらう。

もちろん安全第一。滑らないように、躓かないように、かぶれないように、暑さ寒さへの対応・・・。ヒヤヒヤしながら気を配る。

何のためにそこまでする？。究極は自然に触れて、楽しんで、その思いが次につながるように。「次に」とは、新しい世代のこと。つながって自然を慈しむ人を沢山つくること。

そんなことを思いながら、特段お金儲けにもならず、くたびれ儲けのほうが多い活動だと思っている。それでも参加してくれた方々から「ありがとう、楽しかったよ」という言葉をいただくと疲れも吹き飛んでしまう。そして、次はもっと分かりやすく案内が出来るようにという欲が出てくる。インストラクターの醍醐味はそれに尽きると思う。昨日の自分を見つけられて、明日の自分を作っていく。だから面白い。

後援	岡山県、高梁市、 NPO 法人フォレストフォーピープル岡山
実行委員会 委員長	梶原利廣
委員	安東孝師、大橋日出男、栢野奈実恵、斉藤秀哉、諏訪岳憲、立石智宣、松田友広、横林英記、渡邊亜矢子
	(五十音順)
会長	宮畑修治
役員	黒瀬勝雄、高橋謙治、田中康敬、中島嘉彦

「おかやま森づくりサポートセンター」 「県民基金」を活用して実施しました。